

バローHDの一部本部機能

来月1日名古屋へ移転

バローホールディングス(HD)は5日、名古屋市内に本部機能の一部を3月1日に移転すると発表した。中核部門をJR名古屋駅近くの名古屋三井物産ビル(同市中村区)に移し、グループの事業戦略を強化するほか、人材の採用や育成を一層拡充する。

同日、不動産管理を手掛ける全額出資子会社の中部開発(多治見市)を4月1日に吸収合併することも発表。グループの経営資源を集約し経営を効率化するのが狙い。

バローホールディングス(HD)は5日、名古屋市内に本部機能の一部を3月1日に移転すると発表した。中核部門をJR名古屋駅近くの名古屋三井物産ビル(同市中村区)に移し、グループの事業戦略を強化するほか、人材の採用や育成を一層拡充する。

名古屋に拠点を構えることで、情報収集のしやすさ、交通の利便性の高さを生かし、グループや取引先との打ち合わせなどを行い、事業展開を迅速化する。新拠点にはセミナールームを備え、採用

バローホールディングス(HD)は5日、名古屋市内に本部機能の一部を3月1日に移転すると発表した。中核部門をJR名古屋駅近くの名古屋三井物産ビル(同市中村区)に移し、グループの事業戦略を強化するほか、人材の採用や育成を一層拡充する。

名古屋に拠点を構えることで、情報収集のしやすさ、交通の利便性の高さを生かし、グループや取引先との打ち合わせなどを行い、事業展開を迅速化する。新拠点にはセミナールームを備え、採用